

德里大学 (DU) 社会工作系 (DSW) 教授兼系主任 Pamela Singla 教授社会工作教育、性别研究、社会政策和社会统计。她通过与不同群体进行实证研究，将人们的声音带入课堂，这一旅程始于 1992 年，为德里政府研究人工拾荒者。在她 30 年的职业生涯中，她对社会工作实践的各个领域进行了广泛的研究和发表，例如女性参与 Panchayati Raj（地方自治政府）、企业界的女性及其工作满意度、大学校园的安全；自然灾害；人口贩运；福利计划和强迫婚姻。她有性别敏感的不同团体，包括向克什米尔地区的 11,000 名警察传授软技能培训。她是印度政府 (GoI) 的成员专家小组和德里妇女安全工作组成员；NOC 国际收养成员，GoI；访客提名，JNU；教务长，国际学生宿舍，杜。她游历广泛，曾在国际和国家会议上发表研究论文，并致力于将理论与实践、学术与智力工作与管理相结合。她还是撒马尔罕大学（乌兹别克斯坦）社会工作的国际顾问和杜大学社会工作课程国际化的核心团队成员。

IASSWのビジョン

ソーシャルワーク教育を促進する世界的な組織であるIASSWを介して、予期せぬ危機、新たなニーズ、暴力、虐待、剥奪の現在の需要を満たすために、世界中でソーシャルワーク教育、実践、研究を強化する緊急の必要性があります。これらの側面は、事実、数字、および物語を通じて強化する必要があります。発展途上国では、奪われ、取り残された人々のライフストーリーを聞き、文書化する必要があります。これは、適切な政策、法律、地域固有のスキームを組み立てるために重要です。したがって、利害関係者を注意深く特定し、積極的な参加を求めることが不可欠です。公平なアプローチ、正義、連帯、包摂との平等の価値は、SDGアジェンダ2030も念頭に置いて、世界の隅々に到達するためにグローバルに伝達される必要があります。IASSWは、次のことを行うための優れたチャネルであることが証明される可能性があります。

- ・COVID-19やその他の危機の結果として変化する状況を念頭に置いて、ソーシャルワークの理論、実践、研究の要素に基づいて構築します。
- ・先住民のモデルに基づいて、希少性、撤退、否定に関する文化的および社会経済的差異の地域的状况に対処します。
- ・家族が重要な単位であり、絆と相互支援が生存と回復力の構築の形態であるアジアのソーシャルワークモデルのような特定のモデル/方法を作成し、ソーシャルワーク実践の既存の方法を再検討します。
- ・ジェンダー分析フレームワークを使用して、態度の変化、ジェンダーの固定観念、差別をもたらし、適切な政策を組み立てるためにジェンダーレンズを使用する。
- ・開業医と学者の間に強力な実践を展開して、介入の新たな分野に関する知識ベースを再検討し、作成します。
- ・集合的な議論を通じてソーシャルワークの規律/全国協会の可視性を高めるためのメカニズムを考案する。
- ・地域の問題とグッドプラクティスを広めるためのソーシャルワークカリキュラムを国際化する。
- ・ソーシャルワーク教育および研究センター、データ生成、ディスカッション、知識の普及のために、フィールドおよび学者の平等な参加を得て、集合的に声を上げます。
- ・知識普及のための地域/国レベルでのベストプラクティス/成功モデルを文書化する[地域の経験と実践を収集するためのIASSW（COVID-19中）の方針で]。
- ・私たちの利害関係者を特定し、適切なコミュニティ、スペース、環境の構築への参加を求めます。

・COVID-19のような予期せぬ危機的状況に対処するために、ソーシャルワークの友愛の間でグローバルな連帯を構築します。危機に対応するためにソーシャルワーカーを訓練する。